

秋もいよいよ深まり、山間では、ちらほら紅葉のたよりも。各単Pでは主催や学校と連携しての各種行事等で充実した日々でありましょう。11/26（土）の市P研究大会も近づいてまいりました。

○11/26（土）市P研究大会・・・本年度も保健科学大学様のご協力で会場をお借りできました。受付時に700～800人が一度に集まりますので、時間に余裕をもって、またできるだけ相乗りでお出てください。

同封の案内状をご参照の上、各単P会員数に応じた人数をよろしく願います。

○11/3（木：祝）県P水俣大会・・・祝日の様々な行事等のある中でお申し込みいただき、ありがとうございました。遠方ですので、事故等に十分お気を付けてお出かけください。

○8/19（金）市教委との懇談会から・・・前号に続き、回答された残りの項目を以下に掲載します。前号と併せて、研修の時間等でご活用ください。

＜特別支援教育におけるサポートブックの作成＞

① サポートブックは、子どもの理解を整理するツールとしてとても有効なものとする。当センターでは、発達面で配慮が必要な児童の保護者で、子どもの障害特性の理解があり、かつ作成の時間と労力を使える方に作成をすすめている。また、サポートブックを作成する際の配慮点や、利用する際の配慮と注意事項を十分にご理解いただき、保護者が中心となり作成している。（こども発達支援センター）

② 子どもの成長を支援してきた家族の方が作成するサポートブックは、学校が子どもの特性や支援方法を知るうえで貴重な資料だと捉えている。

子どもの学校生活への適応等を踏まえ、保護者と話し合いながら、サポートブックを個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成に生かすことはもちろん、子ども発達支援センター等と連携し、その適切な活用のあり方について研究していく。（指導課）

＜教科書展示会等の周知＞

教科書展示会の開催については、市政だより6月号や熊本市ホームページに教科書展示会会場や期間等の情報を掲載し、広くお知らせしている。また、各小中学校に対しても、熊本県からの通知を受けて、5月16日付けで教科書展示会の会場・期間などを通知し、保護者の方々への周知を依頼している。（指導課）

＜学校図書館の充実＞

現在、学校図書館の蔵書率に応じて学校に予算を配当し、選書及び購入を行っている。今後は図書の新着を行い、より質の高い読書環境の整備ができるよう努めて参りたいと考えている。（総務企画課）

＜国語教育や日本の歴史・郷土学習等の充実＞

学習指導要領では、国語科において、音読・暗唱、漢字の読み書きなど基本的な力を定着させた上で、各教科等において、記録、要約、説明などの言語活動に取り組む必要があると明記されている。また、社会科においても、目標の中に「我が国の国土と歴史に対する理解と愛情」を深めるよう明記されている。これに基づき、全ての学校で、授業等で実践し、目標達成に努めている。

さらには、未来の熊本をつくっていく子どもたちに、熊本の歴史や文化にふれ、郷土の偉人に学ぶ機会として、本市にゆかりのある偉人や史跡等を紹介した「郷土読本『夢の実現を』ふるさとくまもとの人々」の改訂を進めている。（指導課）

＜ほめると叱るのけじめのある指導＞

しかるべき時はしかり、ほめるべき時はほめる。大人が「是々非々」で子どもにも対応することが大切である。また、みんなの前で今、しかることは是非も考えて対応することも大切である。

そのためには、普段の学校生活において子ども一人ひとりが周囲の大人や友だちから認められている、必要とされていると実感できる時や場が前提になくはない。その実感があると、子どもはしかられたことをしっかりと反省し、ほめられたことでさらに自分を伸ばそうと頑張っていくと考えられる。（指導課）

＜男子へのさん付け＞

教育委員会としては、男女とも「〇〇さん」と統一するような指導はしていない。

子どもを一人の人間として尊重する意味からも、すべての子どもに「さん」や「くん」などの敬称をつけて呼ぶように指導している。（人権教育指導室）

ヘルメット着用推進

ヘルメット絵